



町長室だより

築上町長 新川 久三



菜の花は一面を黄色に染め、桜の花も開花間近です。今月から平成26年度の始まりです。

卒業（退職）と入学（就職）

町内の全ての学校等が3月には卒業式、卒園式を終え、4月は入園、入学と新しく社会人となられ就職をされた方の門出をお祝い申し上げます。

本町役場においても18名が退職し、昨年の試験において成績優秀な新入職員12名が採用されました。そして定年退職者については本人の希望により再任用制度が始り、一年間再任用給与表を適用し、雇用することになりました。

何れも築上町職員として町民生活の向上のため、遺憾なく業務に励んでくれるものと期待しています。

東九州道行橋インター完成

3月23日、東九州自動車道の行橋インターが完成し、小倉、福岡方面への上りの時間が短縮されました。しかし、椎田バイパスの築城インター、椎田インターが8月8日まで閉鎖されるため、国道10号線と県道椎田く勝山線への車が多くなり、朝晩はかなりの渋滞を引き起こしています。

東九州自動車道の町域が通行可能になってからも、現在引き起こしている渋滞は変化が無いと考えられます。両インター閉鎖前は椎田バイパスの利用車は料金所を通過しないで県道へ迂回し、上りは椎田インター小原から徳永まで、下りは徳永から椎田インター小原までの車両が多くありましたが、この車両が高速道路開通後もこの現象が続くことが予想されます。以前から国道10号線の4車線化について国土交通省をはじめ関係

機関に要望していますが、実現にいたっていません。これら渋滞の現状に鑑み早急にこの対策を講じられるように強く訴えてまいります。

75W地域防音工事の建具の交換可能

防衛省からの通知により、今まで防音事業の線引きが75W区域の建具の交換は対象ではありませんでした。しかし、今年度から損傷著しい建具については取替えができるようになります。これは、長年の騒音に対する要望を行ってきた結果だと感じております。そして、一番の要望である防音対象区域の拡大及び防音区域内の平成4年10月以降に建築された家屋を対象外から事業を行える対象にすることを現在要望しています。今後も更に強く防衛省に要望していきます。

過ぎしやすい時季になり、町民の皆様には元気に活動、活躍することを祈りして4月号の便りとなります。

災害時協定締結

3月3日、築上町は災害時に協力して対応する協定を築上町社会福祉協議会、郵便局とそれぞれ結び、役場本庁で協定書を交わしました。

築上町社会福祉協議会との協定内容は、築上町が災害時にボランティアセンターを築上町社会福祉協議会に設置し、ボランティアが必要な被災地の情報をまとめ、募集や派遣業務を行うこととしています。また、行橋郵便局や町内5郵便局と結んだ協定では、郵便局側が緊急車両を提供したり、被害者が差し出す郵便物の料金を無料にするとしています。

締結式には、新川久三町長と内藤道夫町社協会長、井上陽一椎田郵便局長ら関係者約10人が出席。新川町長は「協力して町民の安心・安全を守っていききたい」と話していました。



問い合わせ 総務課 行政係 (内線 3 3 1)